

地域の想いを伝える寺であれ。
先代の言葉を守り実践する。



光を象徴している本堂の屋根のモニュメント

【プロフィール】

昭和23年東京都生まれ。大正大学仏教学部卒業。東尾久3丁目にある浄土宗満光寺の第29世住職として務める傍ら、荒川史談会の第5代会長をはじめ、荒川区文化団体連盟理事長、教育委員会教育委員長などを歴任。東京都の文化功労表彰などを受ける。地域の文化伝統の保護と発展、教育行政にも尽力されている。



高田 昭仁さん
たかだ あきひと

荒川史談会 会長
荒川区教育委員会 委員長
満光寺 住職

第216回 荒川の人

古刹の住職を務め 歴史と文化を探求

その名に「阿弥陀如来の光が満ちあふれる寺」という意味が込められている満光寺。歴史を遡れば、南北朝末期から室町時代にかけて天台宗として創建され、その後浄土宗となり上野・不忍池近くにあった寺院が、寛永寺の造営に伴って現在の東尾久3丁目に移転したとされています。この由緒ある古刹の第29世住職を務めているのが高田昭仁さんです。

高田さんは東京四谷の西念寺に生まれ、先代の故・高田隆成住職との出会いによって昭和45年から満光寺に務めることになり、荒川区との関わりが始まりました。

「四谷から荒川に来て、山の手とは違う人情の厚さ、親しみやすさが肌にあって、荒川の町にすぐに馴染めたんだと思う。高田の家に入って、親父（先代）は地域でもいろいろ活動していたんだが、役所でもどこでも、必ず僕を連れていってくれた。言い換えれば、運転手をしてたってことだけど（笑）。今思えば、自分の跡を継がせるために、社会勉強をうまくさせて育てていたんだと思うよ」

現在高田さんが5代目の会長を務める「荒川史談会」を創設したのも先代の隆成住職。「荒川史談会」の誕生のきっかけは実は意外なものからと伺いました。

「荒川区の郵便局には風景入りのスタンプ印がないのでぜひ設置したいが、どんなものが良いだろうかと親父に相談があったそうです。郵便局やPTAの方たちと資料を集めたり話し合ったりしてスタンプ印が完成したんですが、せっかく皆で集まったからと、先代が中心になって



当時作られた風景スタンプ印。千住大橋と小塚原回向院境内の観音記念碑を圖案化したもので、南千住郵便局、千住大橋郵便局(廃局)に置かれました。現在は使われていません。

会を作ったそうです。地域の文化を守って伝えていかなくてはという使命感があったんだと思います」

昭和41年に発足した荒川史談会は昭和56年から荒川区文化団体連盟に加盟し、後年、高田さんはその理事長も務めることになりました。荒川史談会の会員は現在100名ほどで「荒川を愛するところを掘り起こす」をモットーに史跡の見学会、テーマを決めて町の文化・歴史の調査や研究、会報誌の発行、年1回の研究発表会などを行っています。

ひとつの郵便スタンプ印から荒川史談会が生まれ、次には、その会がきっかけとなって、荒川区ならではの大きなつながりと成果が生まれていきます。

地域と人を温かく 見守る大きな存在

昭和52年に東京都で江戸の伝統工芸技術の現況調査があり、荒川区では荒川史談会が中心となって調査が行われました。東京都の調査は1年ほどで終了したのですが、区は引き続き調査を続け、それが伝統工芸技術の保護・普及活動の原点となります。昭和54年の時点で104名の伝統技術保持者の記録が集められ、荒川区と史談会の共催で「あらかわの伝統技術展」が開催される運びとなりました。

「伝統工芸技術の調査で職人さんたちを訪ね、皆さんと知り合いになったので声がかげやすく、協力が

得られました。荒川区には多くの職人さんと技術があり、誇れるものがあります。多くの区民の皆さんに見てもらい、また、子どもたちの教育にも活用していきたいという目的で、昭和56年3月に第1回を開催し大成功を収めました」

さらに、この伝統技術展がきっかけで、荒川区伝統工芸技術保存会が生まれ、第6回目からは、荒川区教育委員会、荒川史談会、荒川区伝統工芸技術保存会の3者の共催となり現在に至っています。

高田さんは、住職、史談会会長のほか、荒川区教育委員会の教育委員としても活躍されています。現在は、教育委員会を代表する教育委員長（2回目）として、区内34校の小・中学校の行事や公開授業・研究発表等の機会を捉え、積極的に学校訪問をされています。

満光寺の境内は昭和45年からラジオ体操の会場となり、夏休みだけでなく、毎年5月の連休明けから10月未まで、毎日ラジオ体操の会が開かれています。また、寺の門前で昭和27年から始まった縁日は、毎月9の付く日に催されていますが、すでに50余年を迎えました。子どもの頃縁日で遊んでいた人が親になって今度はその子連れ来てたり、中には孫を連れて来る人や他の地域に住んでいる人が久しぶりに訪れたり、縁日を懐かしむ人が結構多いそうです。

いつも高田さんの胸にあるのは、「人は移り変わるが寺はずっとそこにある。いつでも寺をきれいにし、地元のために働くことが寺の仕事だ」という先代の言葉だそうです。荒川という地域を愛し、子どもたちや職人さんをはじめ、荒川に暮らす人々を温かく見守る父親のような大きな存在が、そこにありました。

くらむ収納から、ゆとりの収納へ!

トランクルーム 貸し納戸

安心な管理人常駐!!管理費・共益金ナシ!!天井高3mで収納抜群!!

2階 割安ブース完成!!

3階 若干空きあり!!

NEW

月額 8,085円〜 (毎月利用料のみ)

全130室 (1.32m²~3.89m²)

詳しくはホームページをご覧ください
※空室はお電話にてご確認ください。

引越しの間に家具の収納として、
シーズンオフの生活用品やスポーツ用品の収納に。

泰山堂トランクルーム 東京都荒川区荒川4-48-3
TEL03-3802-8888 (8:00~19:30) FAX03-3805-2690

ACCESS 地下鉄町屋駅から徒歩5分/明治通りから尾竹橋通りに入り、最初の信号を右折。

http://www.okubopp.co.jp/

広告のお申し込みは...荒川区地域振興公社 ☎38002-7111

使わなくなった指輪・ネックレスなどの貴金属を

お売りください

タンスや引き出しに眠っている貴金属をお持ち下さい。
傷が付いていても、壊れていても構いません。

◎指輪一個から買取致しております。お気軽にご来店下さい。

金・プラチナ各種インゴット地金の小売販売も行っております。

営 10:00~16:30 休 土曜日・日曜日・祝日

HP <http://kaitori.ijimakk.co.jp> (PC) <http://kaitori.ijimakk.co.jp/m> (mobile)

東京都荒川区東日暮里5-47-10
TEL 03-3806-2120 FAX 03-3806-2368

社団法人 日本金地流通協会 正会員 創業40年 貴金属地金商

井嶋金銀工業株式会社